

## 議案第 2 号

### 給料の特別調整額に関する規則の一部改正について

平成30年 3 月 22 日 提出      岩手県人事委員会   委員長      熊谷   隆 司

---

#### 第 1    趣 旨

知事部局及び警察の組織改編に伴い、所要の改正をしようとするものである。

#### 第 2    規則案の内容

知事部局及び警察の組織改編に伴う組織規則等の改正（3 月 30 日公布、4 月 1 日施行）に合わせ、所要の改正をすること。（別表第 1 関係）

#### 第 3    施行期日

平成30年 4 月 1 日から施行する。

給料の特別調整額に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成30年 3 月 日

岩手県人事委員会  
委員長 熊 谷 隆 司

岩手県人事委員会規則第 号

給料の特別調整額に関する規則の一部を改正する規則

給料の特別調整額に関する規則（昭和35年岩手県人事委員会規則第16号）の一部を次のように改正する。

改正前							改正後						
別表第 1 （第 2 条関係）							別表第 1 （第 2 条関係）						
組 織	区 分						組 織	区 分					
	1 種	2 種	3 種	4 種	5 種	6 種		1 種	2 種	3 種	4 種	5 種	6 種
知 事 の 事 務 部 局	[略]						知 事 の 事 務 部 局	[略]					
	[略]				審査指 導監			[略]				審査指 導監	
					県税室 長 [略] 企画推 進課長 <u>産業振 興課長</u> <u>（盛岡 に限る 。）</u> 管理主 幹 [略]							<u>産業振 興室長</u> 県税室 長 [略] 企画推 進課長       管理主 幹 [略]	
広 域 振 興 局 以 外 の 出 先 機	[略]			[略]	環境保 健研究 センタ ー副所 長		広 域 振 興 局 以 外 の 出 先 機	[略]			[略]	環境保 健研究 センタ ー副所 長 <u>環境保 健研究 センタ ー健康 情報調</u>	[略]

	関				県民生 活セン ター所 長 [略]				<u>査監</u> 県民生 活セン ター所 長 [略]	
[略]										
警 察	本 部 等	[略]			[略] <u>サイバ</u> <u>ー犯罪</u> <u>対策室</u> <u>長</u> [略]				[略] <u>サイバ</u> <u>ーセキ</u> <u>ュリテ</u> <u>ィ対策</u> <u>宣</u> [略]	
警 察 署		署長（盛岡東、盛岡西、花巻及び北上に限る。）	署長（岩手、紫波、 <u>水沢</u> 、一関、大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸に限る。）	[略]						
[略]										
[略]										

	関								<u>査監</u> 県民生 活セン ター所 長 [略]	
[略]										
警 察	本 部 等	[略]			[略] <u>サイバ</u> <u>ーセキ</u> <u>ュリテ</u> <u>ィ対策</u> <u>宣</u> [略]				[略] <u>サイバ</u> <u>ーセキ</u> <u>ュリテ</u> <u>ィ対策</u> <u>宣</u> [略]	
警 察 署		署長（盛岡東、盛岡西、花巻、 <u>北上</u> 及び <u>奥州</u> に限る。）	署長（岩手、紫波、一関、大船渡、釜石、宮古、久慈及び二戸に限る。）	[略]						
[略]										
[略]										

備考 改正部分は、下線の部分である。

附 則

この規則は、平成30年 4 月 1 日から施行する。

## 給料の特別調整額に関する規則及び級別職務区分表の告示の一部改正について

## 1 改正の趣旨

知事部局及び警察の組織改編に伴い、所要の改正をしようとするもの。

## 2 改正の内容

(1) 職を追加すること。

※ 任命権者から追加で内申のあった職

部 局	職 名	給料表	職務の級	特別調整 額の区分	理 由
知事部局 (広域振興局)	産業振興室長 ※ 別紙「補足 1」 参照	行政職	6・7 級	5 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域振興局の産業振興体制強化のために新設された、産業振興関連事業の統括を行う職であり、職務の困難性が認められること。</li> <li>・ 広域振興局における室長の特別調整額は、原則 5 種としていること。</li> </ul>
※ 知事部局 (環境保健研究センター)	健康情報調査監 ※ 別紙「補足 2」 参照	行政職	6・7 級	4 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期総合計画における主要施策「健康」分野の施策を部局横断的に立案・展開するための保健医療データの分析業務を統括するとともに、本庁関係課の総括課長と連携・調整を担う職として、相当程度の職務の困難性が認められること。</li> <li>・ 所長を直接補佐し、所内複数部に跨るプロジェクトチーム員の指揮・監督を担うことから、副所長（4 種）と同等の職責が認められること。</li> </ul>
警察 (本部)	サイバーセキュリティ対策官 ※ 別紙「補足 3」 参照	行政職	6・7 級	5 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本部において、サイバー犯罪・サイバーセキュリティ対策を担う 3 係（新設されるサイバーセキュリティ対策係を含む）を統括する職であり、職務の困難性が認められること。</li> <li>・ 改編前のサイバー対策室長（5 種）の業務を概ね引き継ぐことから、当該職との均衡を図る必要があること。</li> </ul>
警察 (警察署)	奥州警察署長 ※ 別紙「補足 4」 参照	公安職	9 級	2 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水沢及び江刺警察署を統合し新たに設置される奥州警察署は、職員定数 133 人、管内人口はおおよそ 13 万人となり、警察署長の管理監督者としての職責が重くなること。</li> <li>・ 盛岡東及び盛岡西警察署の署長（2 種）と同等の職責及び職務の困難性が認められる職であること。</li> </ul>

※ 知事部局 (本庁)	技監 ※ 別紙「補足5」 参照	医療職 (1)	4 級	2 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健福祉部内を総合的に指揮・監督するとともに、医学の専門的な観点から次期総合計画における主要施策「健康」分野の企画立案を担う職として、相当程度の職務の困難性が認められること。</li> <li>・行政職の技監（行政職9級）と同等の職責及び職務の困難性が認められる職であること。</li> </ul>
※ 知事部局 (本庁)	技術参事 ※ 別紙「補足6」 参照	医療職 (2)	7 級	3 種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)岩手畜産流通センターの施設建設を控え、総括課長級（医療職(2)6・7級）である食肉衛生検査所長が、これまでの業務に加え、専門的な観点から検査体制の整備強化に関する企画・立案を担うこととなることから、その職責に応じた職を新設するものであること。</li> <li>・行政職の技術参事（行政職8級）と同等の職責及び職務の困難性が認められる職であること。</li> </ul>

## (2) 職を削除すること。

部 局	職 名	給料表	職務の級	特別調整 額の区分	理 由
知事部局 (盛岡広域振 興局)	産業振興課長	行政職	6・7 級	5 種	産業振興室の新設に伴い、 <b>廃職</b> となること。
警察 (本部)	サイバー犯罪 対策室長	行政職	6・7 級	5 種	課内室の廃止に伴い、 <b>廃職</b> となること。
警察 (警察署)	水沢警察署長	公安職	8 級	3 種	江刺警察署との統合に伴い、 <b>廃職</b> となること。

## 3 施行期日

平成30年4月1日

<別紙>

補足 1 : 「産業振興室長」

1 組織改編の概要

【盛岡広域振興局（経営企画部）】

現 行	新体制
<p>★局長 ★副局長 ★部長（兼） └◎企画推進課————— 課員 └—▲特命（文化スポーツ振興） └—▲産業振興課（行政職 5 級）— 課員   ◎管理主幹 └—▲総務課————— 課員 └—▲支出入札課————— 課員</p> <p>※ 室長（行政職 6・7 級：5 種）</p>	<p>★局長 ★副局長 ★部長（兼） └◎企画推進課（行政職 6・7 級：5 種）— 課員 └—▲特命（文化スポーツ振興） └◎産業振興室（行政職 6・7 級：5 種）— 室員  └▲特命（観光振興）————— 室員 ◎管理主幹 └—▲総務課————— 課員 └—▲支出入札課————— 課員</p> <p>※ 産業振興室は商工労働観光部定数</p>

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

2 産業振興室の設置理由

- ・ 広域振興局の産業振興体制の強化を図るため、これまでの産業振興課を格上げし、産業振興室を設置するもの。
- ・ 産業振興室長は、強化された組織において、産業振興関連事業の統括を行う職であり、出先機関の室長（行政職 6・7 級、特別調整額 5 種）と同等の職責・職務の困難性が認められること。

## 補足 2 : 「健康情報調査監」

### 1 組織改編の概要

知事部局の出先機関（環境保健研究センター）

【保健福祉部】健康国保課

現 行	新体制
◎課長 └ [▲健康予防] └ [▲薬務] └ [▲国保]	◎課長 └ [▲健康予防] └ [▲薬務] └ [▲国保] └ ◎特命参事（行政職 6・7 級：4 種）  ※ 特命参事は環境保健研究センター 健康情報調査監を兼任

【環境生活部】環境保健研究センター

現 行	新体制
★所長 └ ◎副所長（行政職 6・7 級：4 種） └ └ ▲企画情報部 └ ◎副所長（研究職 4 級：4 種） └ └ ▲保健科学部 └ └ ▲衛生科学部 └ └ ▲環境科学部 └ └ ▲地球科学部 └ └ ▲検査部	★所長 └ ◎副所長（行政職 6・7 級：4 種） └ └ ▲企画情報部 └ ◎副所長（研究職 4 級：4 種） └ └ ▲保健科学部 └ └ ▲衛生科学部 └ └ ▲環境科学部 └ └ ▲地球科学部 └ └ ▲検査部 └ ◎健康情報調査監（行政職 6・7 級：4 種） └ └ プロジェクトチーム  ※ 健康情報調査監は健康国保課 特命 参事が兼任

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

### 2 健康情報調査監の設置理由

- 健康国保課の特命参事が、新たに環境保健研究センターに設置するプロジェクトチーム（2020 年までの時限的な組織として設置）の指揮監督を行う健康情報調査監を兼務し、本庁と環境保健研究センターの連絡・調整を図り、円滑かつ一体的な業務運営を行うもの。
- なお、現在策定中の次期総合計画において、8+1 の政策分野を設定し、政策体系を構築することとしており、当該政策分野に「健康」が掲げられていることから、当該プロジェクトチームが、環境保健研究センターが保有している解析システムを用い、健康国保課において所管している保健医療データを活用しながら、県民の健康に係る調査・分析を行い、施策展開を図っていくこととしているもの。

補足3「サイバーセキュリティ対策官」

1 組織改編の概要

警察本部（サイバー犯罪対策課）

【本部】

現 行	新体制
<div>生活環境課</div> <div>★参事官</div> <div>↓</div> <div>課長（兼務）</div> <div>↓</div> <div>◎調査官一次長——庶務</div> <div>（兼務）</div> <div>├生活経済</div> <div>├生活安全特捜隊</div> <div>├営業</div> <div>└危険物</div> <div>課内室</div> <div>◎サイバー犯罪対策室長——サイバー犯罪対策</div> <div>（行政職6・7級：5種）└サイバー犯罪特捜</div>	<div>生活環境課</div> <div>★参事官</div> <div>↓</div> <div>課長</div> <div>↓</div> <div>◎調査官一次長——庶務</div> <div>├生活経済</div> <div>├生活安全特捜隊</div> <div>├営業</div> <div>└危険物</div> <div>課内室</div> <div>廃止</div>
<div>新設</div>	<div>サイバー犯罪対策課</div> <div>◎課長</div> <div>↓</div> <div>◎サイバーセキュリティ一次長——庶務（生活環境課兼務）</div> <div>対策官</div> <div>（行政職6・7級：5種）└サイバーセキュリティ対策</div> <div>└サイバー犯罪対策</div> <div>└サイバー犯罪特捜</div>

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

2 サイバー犯罪対策課の新設理由

- ・ インターネットが社会基盤として定着する中、不正アクセス禁止法違反事件及びコンピュータ・電磁的記録対象犯罪等の悪質なサイバー犯罪が多発している。
- ・ サイバー犯罪に対する捜査態勢の強化、捜査員への指導・教養体制を構築するため、生活環境課内のサイバー犯罪対策室を独立し、サイバー犯罪対策課に格上げするもの。
- ・ なお、サイバーセキュリティ対策官は改編前のサイバー犯罪対策室長の業務を概ね引き継ぐものであること。



## 補足4：「奥州警察署長」

## 1 組織改編の概要

## 【警察署】

現 行	新体制
<b>盛岡東 警察署</b> ★署長（公安職9級：2種）   ◎副署長	<b>盛岡東 警察署</b> ★署長（公安職9級：2種）   ◎副署長
<b>盛岡西 警察署</b> ★署長（公安職9級：2種）   ◎副署長	<b>盛岡西 警察署</b> ★署長（公安職9級：2種）   ◎副署長
<b>水沢 警察署</b> ★署長（公安職8級：3種）   ◎副署長——警務課  ——会計課  ——生活安全課  ——地域課  ——刑事課  ——交通課  ——警備課	<b>奥州 警察署</b> ★署長（公安職9級：2種）   ◎副署長——警務課  ——会計課  ——生活安全課  ——地域課  ——刑事課  ——交通課  ——警備課
<b>江刺 警察署</b> ◎署長（公安職7級：4種）    ——次長——警務課（兼務）  ——刑事・生活安全課  ——地域課  ——交通課  ——警備課	

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

## 2 水沢及び江刺警察署の統合理由

小規模警察署は、夜間・休日の体制が必ずしも十分ではないことや大規模事件・事故等への対応能力不足等が懸念されることから、警ら活動の強化や地域に密着した改札活動を展開するため、同一生活圏内で比較的近距離にある水沢警察署と江刺警察署を統合し、奥州警察署を新設するもの。

## 【参考】

## (1) 警察署における 9 級格付けの状況（東北各県）

	警 察 署 及 び 定 員	
	9 級格付け（下線は最低規模）	8 級格付け （主なもの）
岩手県	盛岡東 266、盛岡西 155、花巻 106、 <u>北上 99</u>	水沢 111、 一関 94、宮古 96
青森県	青森 330、八戸 294、弘前 236、五所川原 109、 <u>黒石 103</u>	三沢 88、十和田 86
宮城県	仙台中央 271、仙台南 292、仙台北 225、仙台東 227、石巻 213、 泉 182、塩釜 175、古川 127、岩沼 133、 <u>大河原 88</u>	大和 93、気仙沼 92
秋田県	秋田中央 244、能代 117、秋田東 113、大仙 114、横手 111、 秋田臨港 109、大館 103、 <u>由利本荘 102</u>	五城目 86、湯沢 85
山形県	山形 314、鶴岡 183、酒田 180、米沢 152、 <u>新庄 106</u>	村山 90、寒河江 86
福島県	郡山 273、福島 256、いわき中央 237、会津若松 189、郡山北 139、 白河 112、福島北 111、いわき東 109、 <u>須賀川 93</u>	田村 77、南相馬 75

## (2) 同規模県における 9 級格付けの状況

	岩手県	青森県	秋田県	山形県	3 県平均
公安職の定員数	2,153 人	2,348 人	1,989 人	2,013 人	—
公安職 9 級の比率	0.42%	0.47%	0.75%	0.40%	—
公安職 9 級の人数	9 人	11 人	15 人	8 人	11 人

## 補足5：「技監」

## 1 組織改編の概要

## 【保健福祉部】

現 行	新体制
★部長  ★副部長 ★副部長（医療職(1) 4級：2種） ★医療担当技監 ★参事  ※ 技監（行政職9級：2種）	★部長 ★ <b>技監</b> （医療職(1) 4級：2種） ★副部長（兼務） ★副部長 ★医療担当技監 ★参事  ※ 技監は副部長を兼任

## 【保健福祉部】保健福祉企画室

現 行	新体制
★室長（医療職(1) 4級：2種） └▲医療政策————— 課員 ◎医務 ————— 課員 └▲特命（医療担当）————— 課員 ◎地域医療推進 ————— 課員 └▲特命（地域医療推進担当）— 課員 └▲特命感染症担当————— 課員  ※ 室長は副部長が兼任	★室長（医療職(1) 4級：2種） └▲医療政策————— 課員 ◎医務 ————— 課員 └▲特命（医療担当）————— 課員 ◎地域医療推進 ————— 課員 └▲特命（地域医療推進担当）— 課員 └▲特命感染症担当————— 課員  ※ 室長は技監が兼任

## 【盛岡広域振興局（保健福祉環境部）】

現 行	新体制
★局長 ★副局長 ★保健福祉環境技監（医療職(1) 4級：2種） ★部長 ◎保健福祉室————— 室員 └▲企画管理————— 課員 └▲医療介護————— 課員 └▲特命（精神保健福祉対策） └▲環境衛生————— 課員 └▲福祉————— 課員	★局長 ★副局長 ★保健福祉環境技監（医療職(1) 4級：2種） ★部長 ◎保健福祉室————— 室員 └▲企画管理————— 課員 └▲医療介護————— 課員 └▲特命（精神保健福祉対策） └▲環境衛生————— 課員 └▲福祉————— 課員  ※ 保健福祉環境技監は技監が兼任

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

## 2 技監の設置理由

保健福祉部において喫緊に取り組むべき次の重要課題を推進するため、**医師としての専門的な知見を活かしながら、部内を総合的に指揮・監督する職の設置の必要**があり、行政職給料表に定められている「**技監**」と同等の職務・職責を担う職として、**医療職（１）の技監**を設置するもの。

### 〔重要課題〕

- ① 地域医療構想を踏まえた**医療機関の機能分化と連携体制の構築**推進、岩手医科大学附属病院における**高度救命救急医療等拠点の整備支援**
- ② 次期岩手県保健医療計画に基づく周産期母子医療センターの機能強化による総合的な**周産期医療体制の充実、ドクターヘリの安全かつ円滑な運航による救急医療体制の確保**、DMA T等の災害医療人材の育成による災害時医療提供体制の強化
- ③ 全国高位の生活習慣病による死亡率の改善のため、働き盛り世代を対象に、生活活動量の増加や食生活の改善など、健康増進の取組を新たに展開し、また、「岩手県脳卒中予防県民会議」を中心とした健康寿命の延伸に向けた取組の推進
- ④ 対象疾病が従来の 56 疾病から平成 27 年に 306 疾病へと大幅に拡大された難病対策の円滑な実施、受動喫煙防止対策の推進
- ⑤ 奨学生医師の医療機関への配置調整、医師・看護師の確保等、医療統計データ等を活用した岩手型ヘルスケアモデルの構築

## 補足6：「技術参事」

## 1 組織改編の概要

## 【環境生活部】技術参事

現 行	新体制
★部長 ★副部長 ★環境担当技監 ★参事	★部長 ★副部長 ★環境担当技監 ★参事 ★技術参事（医療職(2) 7級：3種） ※ 技術参事は食肉衛生検査所長を兼任

## 【環境生活部】食肉衛生研究所長

現 行	新体制
★所長（医療職(2) 6・7級：4種） └▲検査指導————— 課員 └▲精密衛生検査————— 課員	★所長 └▲検査指導————— 課員 └▲精密衛生検査————— 課員 ※ 所長は環境生活部の技術参事が兼任

※ ★は部長・副部長級、◎は総括課長級、▲は担当課長級を示す。

## 2 技術参事の設置理由

- ・ 食肉衛生検査所においては、輸出食肉の増加に伴い、平成22年に比較し、輸出重量、衛生証明書発行件数がともに数十倍になるなど、牛肉輸出関連業務が著しく増加している。
- ・ また、平成32年4月に稼働予定の(株)岩手畜産流通センターの施設建設に対応するため、検査体制の強化に向けた対応が必要である。
- ・ このため、本庁に技術参事の職を設置し、当該技術参事が食肉衛生検査所長を兼務することにより、上記の検査体制の強化に向けた本庁関係課や(株)岩手畜産流通センターとの連絡・調整を図り、円滑かつ一体的な業務運営を行うもの。

## 【参考】

## 1 食肉衛生検査所における牛肉輸出量等の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
輸出重量 (kg)	1,800	3,700	9,297	33,378	50,601	87,137	138,894 (H22比：77倍)
衛生証明書 発行件数	14件	38件	62件	238件	323件	463件	709件 (H22比：51倍)

【輸出可能な国と地域】（平成29年9月末現在）

香港、シンガポール、米国、タイ、ベトナム、カナダ、ニュージーランド、マカオ、ミャンマー、メキシコ、台湾

※ 今後、ロシアへの輸出認定も予定されており、さらに牛肉輸出量は増える見込み。

## 2 (株)岩手畜産流通センターにおける豚処理施設建設の概要

## (1) 施設概要

	現 施 設	新 施 設
1 日あたりの処理頭数	1,300 頭	1,600 頭
処理スピード	180 頭/時間 (20 秒/頭)	270 頭/時間 (13 秒/頭)
処理ライン	1 ライン	1 ライン (一部 2 ライン)

## (2) 建設スケジュール

	岩手畜産流通センター	食肉衛生検査所
H30 年度	工事着工 (工期は約 1 年半)	設計助言、関係各所との調整
H31 年度	完成 (12 月)、試運転 (1~3 月)	シフト検討、現場訓練
H32 年度 (4 月)	本稼働	検査開始